

令和5年度

新宿区立新宿歴史博物館等文化・歴史施設  
指定管理者の管理業務に係る事業評価結果  
(新宿区立新宿歴史博物館)

令和6年10月

新宿区

## 目 次

I	評価の目的	1
II	施設の概要	2
III	評価の概要	3
IV	評価結果	
1	評価結果	4
2	項目別の評価	5
3	全体評価	7
◎評価資料（指定管理者提出資料）		
1	利用者数	(資料1) 9
2	利用・サービスに関すること	(資料2) 11
3	省エネルギー・省資源	(資料3) 19
4	管理運営経費に関すること	(資料4) 20
5	事業に関すること	(資料5) 27
◎参考資料		
1	新宿歴史博物館等文化・歴史施設の指定管理者の管理業務に係る 事業評価に関する要綱	(参考資料1) 32
2	新宿歴史博物館等文化・歴史施設の指定管理者の管理業務に係る 事業評価委員会の開催実績	(参考資料2) 34

## I 評価の目的

「新宿歴史博物館」は、新宿区の豊かな歴史・文化資源を「まちの記憶」として多くの方々と共有し、未来へと継承していくため、新宿区が、平成元年1月に開設した施設です。

新宿区では、指定管理者制度を導入している施設について、指定管理者から提出された事業計画書及び区と指定管理者が締結する協定書のとおり事業が実施されたかを検証するため、外部の委員の参画による評価委員会を設置し、事業評価を実施することとしています。これに基づき、令和6年7月24日、新宿歴史博物館等文化・歴史施設指定管理者事業評価委員会を開催しました。

新宿歴史博物館の運営については、平成18年度に指定管理者制度が導入され、財団法人新宿区生涯学習財団が指定管理者としてその業務を担いました。平成21年度末に財団法人新宿区生涯学習財団が廃止され、その機能を引き継いだ公益財団法人新宿未来創造財団が新たに平成22年4月1日に発足し、平成22年度以降、同財団が新宿歴史博物館の管理運営を実施しています。今回の評価対象期間は、令和5年度の1年間となります。

この報告書は、同評価委員会による評価結果を踏まえて区の評価をまとめたものです。評価結果は、今後の管理運営業務の改善及びサービスのより一層の向上のため、公益財団法人新宿未来創造財団に通知することとします。

## II 施設の概要

- 1 施設の名称 新宿区立新宿歴史博物館
- 2 所在地 新宿区四谷三栄町 12 番 16 号
- 3 規模 鉄骨鉄筋コンクリート造 地上 3 階 地下 2 階建  
敷地面積 2,957.18 m<sup>2</sup> 延床面積 3,845.66 m<sup>2</sup>
- 4 開設年月 平成元年 1 月 29 日開館

### 5 施設

施設 内容	3 階	積層書庫
	2 階	講堂、図書閲覧室、会議室、ホワイエ、重要資料収蔵庫 1・2、積層書庫、事務室
	1 階	エントランスホール、荷解室、洗浄室、警備員室
	地下 1 階	常設展示室、企画展示室、休憩コーナー、ホワイエ、特別収蔵庫
	地下 2 階	一般収蔵庫、中央監視室、機械室

### 6 休館日

- (1) 原則として第 2、第 4 月曜日  
(ただし、月曜日が休日の場合は直後の休日でない日)
- (2) 年末年始

- 7 開館時間 午前 9 時 30 分から午後 5 時 30 分まで

- 8 指定管理者 公益財団法人新宿未来創造財団

### 9 管理運営業務の概要

- (1) 博物館の運営業務  
利用承認、利用料金の収納、職員の配置、人材育成、危機管理等
- (2) 施設の管理業務  
博物館の施設、附属設備その他の設備の維持管理に関する業務等
- (3) その他博物館に関し、区が必要と認める業務

### Ⅲ 評価の概要

「新宿歴史博物館等文化・歴史施設の指定管理者の管理業務に係る事業評価に関する要綱」に基づき行いました。

#### 1 評価委員会

- (1) 名称 新宿歴史博物館等文化・歴史施設指定管理者事業評価委員会
- (2) 構成 委員 6 名（外部委員 4 名、内部委員 2 名）

#### 2 評価対象期間

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

#### 3 評価項目

- (1) 施設の運営に関する事
- (2) 利用・サービスに関する事
- (3) 施設・設備の管理に関する事
- (4) 管理運営経費に関する事
- (5) 事業に関する事

#### 4 評価方法

指定管理者から提出された「令和5年度事業報告書」及び関連資料のほか、評価委員会開催日当日における指定管理者からの説明及び質疑応答により評価を行いました。

各評価委員は、上記評価項目と総合評価について、下記の評価基準により評価を行いました。

- 4：優良
- 3：良
- 2：適当
- 1：課題あり

## IV 評価結果

### 1 評価結果

新宿歴史博物館等文化・歴史施設指定管理者事業評価委員会の各委員による評価を踏まえて、以下のとおり決定しました。

評 価 項 目		評 価
1	施設の運営に関すること	2.8
2	利用・サービスに関すること	3.0
3	施設・設備の管理に関すること	2.7
4	管理運営経費に関すること	3.0
5	事業に関すること	3.3
総 合 評 価		3.0
全 体 評 価		3 (良)

- ・評価の見方 4：優良 3：良 2：適当 1：課題あり
- ・全体評価欄は総合評価欄の数値を下記基準により全体評価として記載
  - 3.5以上 → 4：優良
  - 2.5以上3.5未満 → 3：良
  - 1.5以上2.5未満 → 2：適当
  - 1.0以上1.5未満 → 1：課題あり

(参考) 各委員の評価

評価項目		委員						合計
		A	B	C	D	E	F	
個別評価	1 施設の運営に関すること	3	3	3	3	3	2	17
	2 利用・サービスに関すること	3	3	3	4	3	2	18
	3 施設・設備の管理に関すること	3	3	2	3	3	2	16
	4 管理運営経費に関すること	4	3	3	3	3	2	18
	5 事業に関すること	4	4	3	4	3	2	20
総 合 評 価		3	4	3	3	3	2	18

## 2 項目別の評価

### (1) 施設の運営に関すること

施設の運営に関して「利用率・稼働率」、「職員体制」、「職員教育」、「緊急時の対応」、「区との連絡調整」、「適正な労働環境の確保」、「その他施設の運営」の観点から評価を行いました。

#### 【評価（2. 8点）】

- ・特別展や所蔵資料展、講座・講演会の開催等、利用者の確保に向けた取組の結果、利用者数の目標達成率は121.0%となり、コロナ禍前の水準に回復している。林芙美子生誕120年の特別展の開催といった周年を意識した取組を行い、利用者数の増加につながったことは、高く評価できる。今後も継続的に利用者を確保するため努力されることを望む。
  - ・緊急連絡網や財団危機管理マニュアルは、計画どおり整備されている。令和5年度は四谷消防署と連携して自衛消防訓練に参加するなど、利用者や施設の安全を守るための取組が適切に行われている。
  - ・区と月に1回、定例の月次報告会を実施し、時宜に応じて事務連絡や協議等、適切に行われている。令和5年度は臨時休館期間を活用し、区所管課職員を講師とした区業務理解のための研修を実施するなど、区との連携体制を強化する取組を実施している。
  - ・ハラスメント研修の実施や、産業医による「何でも相談室」を開催（月1回）するなど、適正な労働環境を確保するための取組が行われている。
  - ・協定書及び仕様書に定める施設の運営に関して、必要な措置が講じられている。
- 以上、施設の運営に関して、適正に運営されていると評価する。

### (2) 利用・サービスに関すること

施設の利用・サービスに関して「利用手続」、「サービス水準の確保」、「利用者サービスの向上」、「利用者対応・接遇」、「利用者要望の把握・対応」、「個人情報等の適切な対応」の観点から評価を行いました。

#### 【評価（3. 0点）】

- ・条例や規則、運用基準に基づき、利用手続きを適正かつ公正に行っている。
- ・協定書及び仕様書に沿った水準で事業計画を立て、計画どおり業務を実施しており、適切に業務・事業が行われている。
- ・コロナ禍で中止していたボランティアガイドやギャラリートーク等の再開、「新宿歴史博物館と落合3記念館との経路マップ」の新規作成など、利用者の利便性を確保するための取組を積極的に行っている。
- ・月例ミーティングや接遇マニュアル等を通して利用者対応の品質維持・向上に努め、利用者アンケートの満足度調査では、「とても満足」「満足」の合計が98.5%（未回答を除く）と、高い評価を得られた。

- ・利用者アンケートについて、積極的な声掛けのもと回答者に葉等をプレゼントするなど、アンケート回収強化に向けた取組を行っている。収集した利用者の意見や要望に対して、対応策を検討し速やかに業務改善するなど、適切に対応している。
  - ・個人情報取扱業務に関する業務フローを策定し、個人情報等の適切な管理に努め、各規則・規定等を遵守し適正に対応している。
- 以上、利用・サービスに関して、適切に行われていると評価する。

### (3) 施設・設備の管理に関すること

施設・設備の管理に関して「施設・設備管理」、「施設修繕・備品管理」、「省エネルギー・省資源」の観点から評価を行いました。

#### 【評価（2. 7点）】

- ・施設設備定期点検について、計画どおりの実施・適切な管理がされている。また、擁壁改修その他工事等全6件の区実施の修繕に対応したほか、平和都市宣言記念板の修繕を行うなど、区所管課と密接に連携して管理を行った。
  - ・省エネルギー・省資源の取組について、ゼロカーボン電力の使用や館内の照明LED化（令和5年度は収蔵庫等9箇所を更新）など、計画的・継続的に取り組んだ。
- 以上、施設・設備の管理は、適正に行われていると評価する。

### (4) 管理運営経費に関すること

管理運営経費に関して「適正な会計」、「目標の達成」、「経費節減、収入・利益率確保の努力」の観点から評価を行いました。

#### 【評価（3. 0点）】

- ・公益法人会計に準拠した会計システムによる適正な事務処理が行われている。本業務収入は目標比124.4%、提案事業収入は目標比105.4%となり、コロナ禍前の水準に回復している。
  - ・区と協議のうえ、残額が発生した光熱水費を主な財源に、企画展示室への調光機能付LED照明装置設置（令和6年度実施予定）のための準備資金を積み立てたことは評価できる。
- 以上、管理運営経費は、適正に執行していると評価する。

### (5) 事業に関すること

新宿歴史博物館の事業運営に関して「事業実施」、「効果的・効率的な視点」の観点から評価を行いました。

#### 【評価（3. 3点）】

- ・区ゆかりの作家林芙美子の生誕120年を記念した特別展や所蔵資料展の開催やメン

バーズ倶楽部通信の発行等、計画した事業を概ね予定どおり実施している。

- ・所蔵資料を活用した YouTube 動画を作成し、区内学校へ動画活用の案内を行うなど、情報発信に努めている。

以上、事業運営に関して、適切に実施していると評価する。

### 3 全体評価

令和5年度の指定管理者の管理業務について、各評価委員の評価を踏まえ、総合評価は「3.0」となりました。また、全体評価は、評価基準（2.5以上3.5未満→3：良）に照らし、「3：良」としました。

#### 【総合所見】

事業計画に基づいた事業の実施や、サービス向上に努め、コロナ禍前の水準での利用者数や利用料金収入を達成し、良好に運営されていた。また、アンケート回収強化期間の設定や接遇研修の実施など、利用者サービスを向上させる取組を積極的に展開している。区実施の修繕への協力や余剰金の特定費用準備資金への積立など、区と連携を図りながら適切な管理運営が行われている。

今後も区民の文化の向上及び郷土の文化の発展に貢献し、さらに区民への存在感を増していけるよう努力を続けられることを期待する。

## ◎評価資料（指定管理者提出資料）

- 1 利用者数・・・・・・・・・・資料1
- 2 利用・サービスに関すること・・・・・・・・資料2
- 3 省エネルギー・省資源・・・・・・・・資料3
- 4 管理運営経費に関すること・・・・・・・・資料4
- 5 事業に関すること・・・・・・・・資料5

## 1 利用者数

利用者数実績は、目標（56,000人）を上回る67,775人（目標比121.0%）となった。

常設展は前年度を大きく上回った。特別展では「生誕120年記念 林芙美子展—旅人で詩人で傑作書きで—」を開催し、地域に関連する魅力的な展示や講座を実施した。また、フリースペースでのパネル展示を行うなど、施設の有効活用も併せて行った。

### ① 施設別利用者数及び評価指標の実績報告

施設名	利用者数				
	計画(人)	実績(人)	達成率	前年度(人)	前年度比
常設展示室	16,000	19,972	124.8%	17,901	111.6%
企画展示室	10,500	11,699	111.4%	17,163	68.2%
閲覧室	1,200	1,336	111.3%	1,197	111.6%
講堂	10,000	11,830	118.3%	10,814	109.4%
ギャラリースペース*	14,000	15,917	113.7%	17,847	89.2%
その他**	4,300	7,021	163.3%	3,268	214.8%
合計	56,000	67,775	121.0%	68,190	99.4%

\*：れきはくギャラリー、ホワイエ、サンクンガーデン等

\*\*：スタンプラリー、施設開放イベント、夏休み子どもイベント、お茶会参加者等

### ② 利用者数

	今年度実績	前年度実績	前年度比
入館者数	67,775人	68,190人	99.4%
開館日数	329日	333日	98.8%
1日平均利用者数	206.0人	204.8人	100.6%
展示会回数*	5回	5回	±0回

\*：過年度/次年度跨ぎ開催分含む

### (内訳)

		今年度実績	前年度実績	前年度比
有料	常設展	12,804人	10,982人	116.6%
	特別展	1,607人	2,334人	68.9%
	有料計	14,411人	13,316人	108.2%
無料	常設展（免除）	4,589人	4,309人	106.5%
	特別展（免除）	1,140人	1,256人	90.8%
	メンバーズ倶楽部 （博物館友の会）	608人	627人	97.0%
	招待者	731人	837人	87.3%

視察・取材	666 人	629 人	105.9%
ぐるっとパス	1,792 人	1,762 人	101.7%
所蔵資料展	7,734 人	12,328 人	62.7%
ギャラリートーク (学芸員による展示解説)	180 人	97 人	185.6%
閲覧室	1,336 人	1,197 人	111.6%
講堂	11,830 人	10,814 人	109.4%
サンクンガーデン	2,234 人	2,454 人	91.0%
れきはくギャラリー	4,390 人	8,962 人	49.0%
ホワイエ・イベント	9,293 人	6,334 人	146.7%
その他	6,841 人	3,268 人	209.3%
無料計	53,364 人	54,874 人	97.2%

< 特別展 >

「生誕 120 年記念 林芙美子展—旅人で 詩人で 傑作書きで—」

令和 5 年 9 月 24 日 (日)

観覧者数 3,965 人

～令和 5 年 11 月 26 日 (日)

< 所蔵資料展 (4 展示会) >

「戦前の新宿」

令和 5 年 1 月 14 日(土)～令和 5 年 4 月 9 日(日)

観覧者数 715 人 (令和 5 年度分)

「新宿の画家たち—出会う、暮らす、描く。—」

令和 5 年 4 月 22 日(土)～令和 5 年 6 月 11 日(日)

観覧者数 2,775 人

「震災からモダン都市・新宿へ」

令和 5 年 7 月 1 日(土)～令和 5 年 9 月 3 日(日)

観覧者数 3,701 人

「歳時記 暮らしの中の祈り」

令和 6 年 3 月 23 日(土)～令和 6 年 6 月 16 日(日)

観覧者数 543 人 (令和 5 年度分)

< 「新宿区×明治東京恋伽」 デジタルスタンプラリー >

令和 6 年 2 月 14 日(水)～令和 6 年 3 月 31 日(日)

参加者数 526 人

## 2 利用・サービスに関すること

### (1) 利用手続

新宿区立新宿歴史博物館条例第 25 条の範囲内で、展示資料の観覧に係る利用料金及び講堂等の利用に係る利用料金を設定した。また、展示会では、常設展と企画展のセット券の販売、また講堂については利用時間の区分を分け、利用者が利用しやすくした。

#### ① 利用料金（展示資料の観覧に係る利用料金）

区分		1 人 1 回当たり	
		一般	小学生・中学生
常設展	個人	300 円	100 円
	団体（20 人以上）	150 円	50 円
特別展 <sup>*1</sup>	個人	300 円	無料
	団体（20 人以上）	150 円	無料
セット券 <sup>*1</sup>	一般	500 円	—
	割引 <sup>*2</sup>	300 円	—

\*1：令和 5 年度特別展の場合。セット券は常設展・特別展のセット。金額は開催ごとに設定。

\*2：図書館・書店等で配布する葉による割引。

#### ② 利用料金（講堂等の利用に係る料金）

区分	午前 9:30-12:30	午後 13:00-17:00	全日 9:30-17:00
平日料金（月～金）	2,000 円	4,000 円	6,000 円
休日料金（土・日・祝）	3,000 円	6,000 円	9,000 円

※ マイク、音響設備、椅子は無料。 ※ 附帯設備（映写設備等）… 1 区分 1,000 円、全日 2,000 円

### (2) サービス水準の確保

基本協定書及び仕様書の内容に沿った水準で、適正に業務・事業を行った。  
感染状況等を踏まえながら、手指消毒、換気の推奨やサイン掲示等を行い、利用者の安全な環境維持に努めた。

また、職員は引き続きマスクの着用を行ったほか、講堂を異なる利用団体が午前・午後で使用する場合は、継続して消毒作業を行った。

### (3) 利用者サービスの向上

利用者が常に安全で快適な状態で新宿歴史博物館の施設や設備を利用できるように、計画的に維持管理や保守点検を行い、施設を保持した。

また、利用者サービスの向上に向けて、指定管理事業（提案事業）として以下の業務を実施

した。

- ① ギャラリートーク（学芸員による展示解説）
- ② 「メンバーズ倶楽部」（財団が管理する博物館・記念館の観覧料が無料になる友の会）の運営  
会員数 682 人（令和 5 年度末）、メンバーズ倶楽部通信：年 6 回発行  
メンバーズ倶楽部限定事業の実施  
「バスでめぐる東国三社と佐原」 令和 5 年 11 月 21 日(火) 参加者数 36 人
- ③ 共生社会に向けた対応  
共生社会の実現に資するため、音声翻訳機を追加購入し運用した。また、財団ウェブサイト上での多言語対応として、多言語翻訳サービス(翻訳言語数 121 言語。PDF データは英・中（簡・繁）・韓の 4 言語)を導入し、周知の強化に努めた。
- ④ 常設展示室特設コーナー、れきはくギャラリーの展示替え（日本建築家協会との連携「新宿建築 100 景」等）

	常設展示室特設コーナー	れきはくギャラリー（1F）	ホワイトエ（B1F）
4月	↑ 所蔵日本画展示 (4/1～6/30)	↑ 昭和30年代新宿風景と人々 (12/17～4/20)	
5月		↑ 新宿建築100景 (5/3～7/9)	↑
6月	↓	↓	
7月	↓ 四谷生まれのクリスチャン 民俗学者・山中共古 (7/1～9/30)	↓ 平和展（7/15～27） (区主催)	
8月			
9月	↓	↓ 絵日記コンテスト (8/31～9/17)	↑ 岩田ガラス（5/1～3/31）
10月	↑ 林芙美子の装い (10/12～12/28)	↑ 尾道観光ポスター展 (9/24～11/26)	
11月	↓	↓	
12月	↓		
1月	↑		
2月	↓ 野口家のお正月 (1/4～3/31)		↑ 新宿区×明治東京恋伽
3月	↓		↑ デジタルスタンプラリー (2/14～3/31)(区主催)

令和5年度は、子ども向け絵日記コンテスト、企画展や所蔵資料展に関連した展示、新宿区主催デジタルスタンプラリーへの協力等を行った。

⑤ フリースペースの有効活用

中庭活用事業（お茶会） 令和5年11月23日（木祝）、令和6年3月24日（日）  
協力 藤の会（江戸千家流） 延べ参加者数 124人

⑥ 施設開放イベントの実施

レガスマつり（はくぶつかんまつり） 令和5年4月1日（土） 財団指定管理施設で実施  
延べ参加者数 1,042人

【プログラム】常設展観覧無料／所蔵資料展／ギャラリートーク（学芸員による展示解説／  
勾玉をつくろう！／花苗無料配布／タッセルづくり／しょうどうたくんねんど色ぬり／顔出しパ

ネル写真撮影／れきはくクイズ「キーワードを探せ！」／れきはく春の講談／刊行物 2 割引

⑦ 新宿歴史博物館から林芙美子記念館・佐伯祐三アトリエ記念館・中村彝アトリエ記念館への行き方を説明したアクセスマップ(チラシ)を新規に作成し、配布した。

⑧ ぱる新宿ガイドに会員割引を掲載

⑨ 職員作成による動画（展示会 3 本、民具 1 本）をウェブサイトに掲載した。

⑩ 自動販売機の設置

指定管理自主事業として実施した。

#### (4) 利用者対応・接遇

利用者への良好な接客対応を行うために、月例ミーティングや接遇マニュアル等を通して利用者対応の品質維持・向上に努めた。

また、令和 6 年 2 月 20 日（火）に実施の接遇研修（財団全体研修）に博物館パート職員が参加し、利用者への良好な接客対応に必要な職員モラルについての研修と接遇マニュアルの再確認をした。

利用者アンケート（P17・18 参照）では展示に対する好印象の回答が多数みられたほか、利用者満足度は「とても満足」「満足」が 98.5%の高評価だった。

#### (5) 利用者要望の把握・対応

① 利用者アンケートの実施（通年）

② 窓口等で寄せられる利用者のニーズ等の収集（通年）

③ アンケート強化の実施（令和 6 年 1 月 15 日～令和 6 年 3 月 3 日）

常設展観覧者と講堂利用者のアンケート回答者に缶バッジをプレゼントするアンケート強化を実施し、108 件の回答を得た。

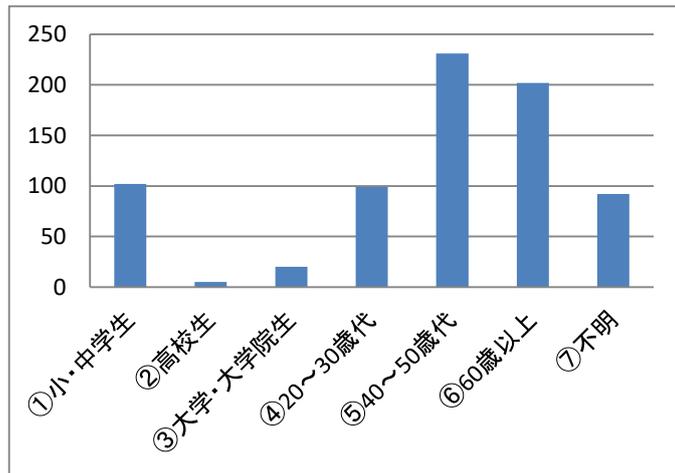
施設に関する意見をより多く聴取するため、展示観覧者アンケートへの項目の追加を行った。収集したニーズやアンケート集計結果等（P15～18 参照）は、課内で情報を共有するとともに、対応策を検討して速やかに業務改善する等、サービスの向上を図った。

# 展示アンケート集計結果

回答数 751 件

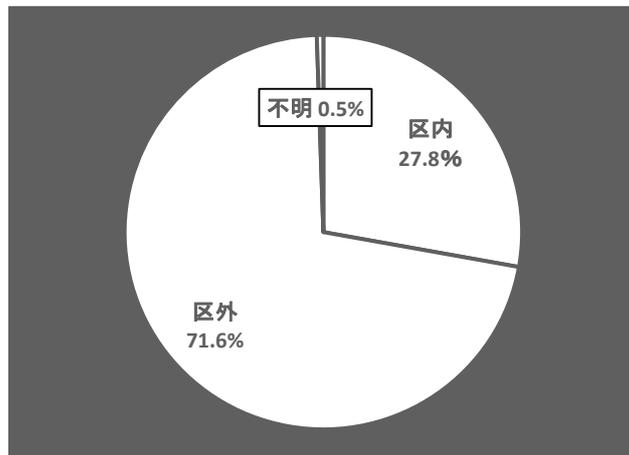
## ア 年齢分布

	人数	総計	割合
①小・中学生	102	751	13.6%
②高校生	5		0.7%
③大学・大学院生	20		2.7%
④20～30歳代	99		13.2%
⑤40～50歳代	231		30.8%
⑥60歳以上	202		26.9%
⑦不明	92		12.3%



## イ 住所

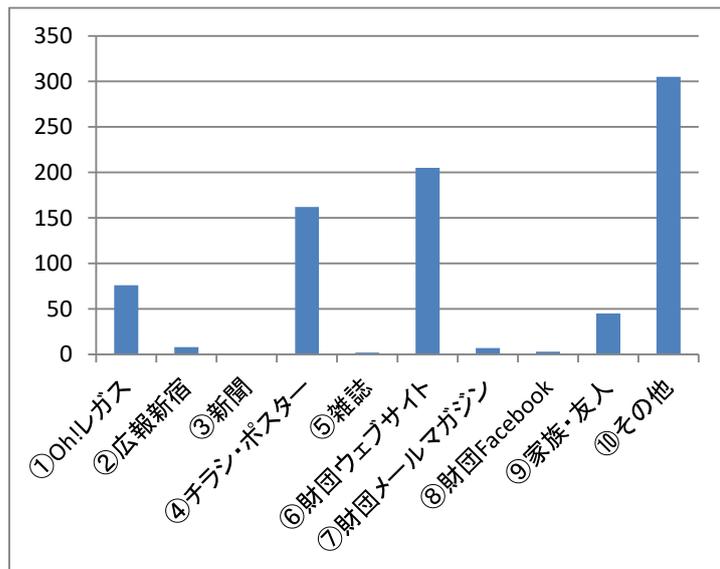
	人数	総計	割合
新宿区内	209	751	27.8%
新宿区外	538		71.6%
不明	4		0.5%



## ウ 当館を知った媒体

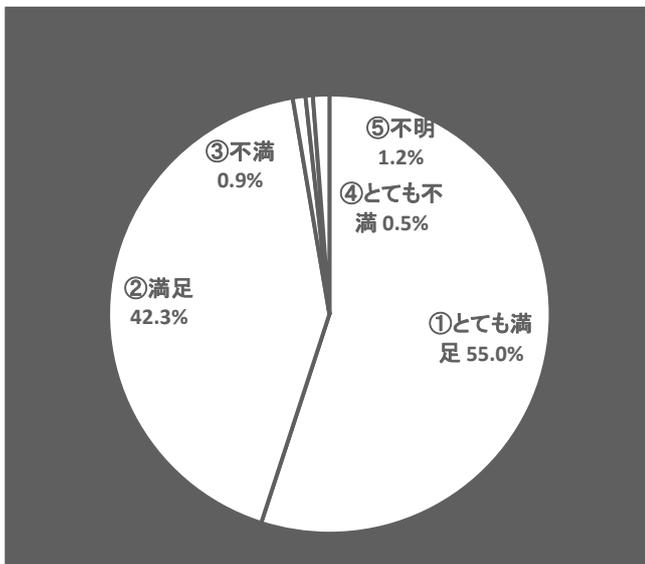
	人数	総計	割合
①Oh!レガス	76	813	9.3%
②広報新宿	8		1.0%
③新聞	0		0.0%
④チラシ・ポスター	162		19.9%
⑤雑誌	2		0.2%
⑥財団ウェブサイト	205		25.2%
⑦財団メールマガジン	7		0.9%
⑧財団Facebook	3		0.4%
⑨家族・友人	45		5.5%
⑩その他	305		37.5%

※重複回答あり



エ 満足度

	人数	総計	割合
①とても満足	413	751	55.0%
②満足	318		42.3%
③不満	7		0.9%
④とても不満	4		0.5%
⑤不明	9		1.2%



講堂利用アンケート集計結果

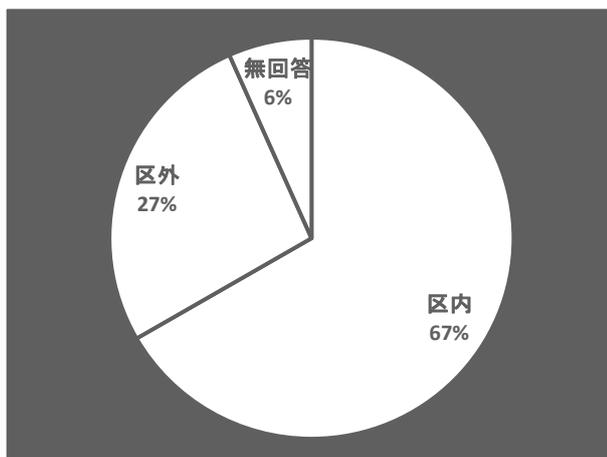
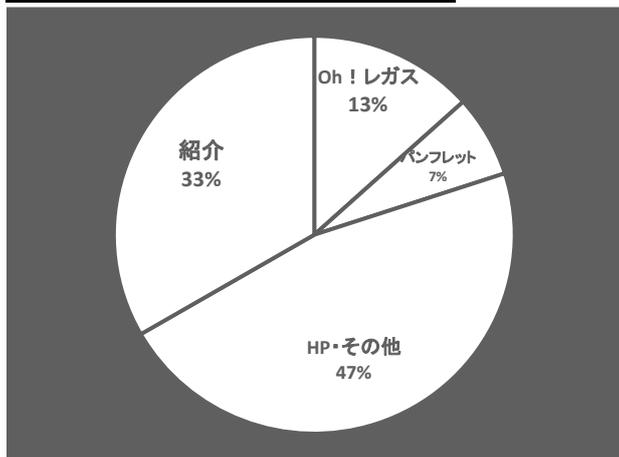
回答数 15 件

ア 当館を知った媒体

	総計	割合
Oh!レガス	2	13%
パンフレット	1	7%
HP・その他	7	47%
紹介	5	33%

イ 利用団体所在地について

	総計	割合
区内	10	67%
区外	4	27%
無回答	1	6%



ウ 当施設に対しての満足度をお教えてください

	椅子・机		放送設備(マイク・プロジェクター等)		共用部分(トイレ・廊下等)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
満足	10	67%	7	47%	10	67%
ほぼ満足	5	33%	5	33%	3	20%
やや不満	0	0%	0	0%	2	13%
不満	0	0%	0	0%	0	0%
無回答	0	0%	3	20%	0	0%

## 感想（抜粋）

	内 容
	<ul style="list-style-type: none"> <li>江戸時代以前から、現代に至るまでの文化を楽しく学べました。実物展示、模型、実物大、また映像等、多様な方法で紹介がなされており、あきることなく楽しめました。【常設展示】</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>随所に解説シートがあったり、キャプションにもモノについての補足が書いてあり、理解が深まりました。また、動画や当時の家屋に入れるところがあり、生活をイメージし易かったです。新宿に集まった人々のお金の使い道が特に面白かったです。【常設展示】</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>地図と写真で新宿の移り変りを見るのは楽しかった。明治初期の地図には四ツ谷門、牛込門の記述がまだ残っていたか、その表記がどう変わっていくのも、これから追って見たくなった。【戦前の新宿 —1834（天保5年）～1940（昭和15年）—】</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>昔の新宿は今より低い建物が多いのに驚きました。現在新宿駅の西口の再開発が進んでいますが、今回のような貴重な写真が保存される事を希望します。【戦前の新宿 —1834（天保5年）～1940（昭和15年）—】</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>現在の新宿は人が多く、世界有数の街に発展しましたが、昔は東京とは思えない牧歌的な風景だったのだと知りました。画家が新宿へなぜ集まったのか疑問でしたが、絵を描きたくなる風景が広がっていたんですね。歴史を知ると画家の絵に対する思いも知れたようで楽しかったです。【新宿の画家たち】</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>佐伯米子の絵を見たいと前から思っていたので、複数の作品を拝見できてよかったです。そして、文化村といいながら、あまり知っている画家がいなかったのに、こんなに多くのゆかりの作品があることに驚きました。大変おもしろかったです。関連図書のリスト、秀逸です！！【新宿の画家たち】</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>関東大震災について火災被害の大きかった浅草、本所地域がクローズアップされがちですが、新宿地域でも建物崩壊などの被害があり、救護所やバラック設営がされたこと、震災後被害が少なかったが故に街が発展したことを知れて良かったです。大正昭和期の都市文化に関心があるので、また今回のような展示がありますと嬉しいです。【震災からモダン都市・新宿へ】</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>関東大震災と言えば、歴史上の出来事として、とても遠いことのように感じてしまうが、警戒線通行票（木札）のような実物を目にして、改めて、身近なこととして認識できました。やはり単に文字の上で学ぶだけでなく、本物に触れることが大事だと感じました。【震災からモダン都市・新宿へ】</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>Very interesting and informative.Very well presented.Thank you for having so many materials and titles available in English. Thank you very much!(非常に興味深く、有益です。非常によく展示です。英語で利用できる資料やタイトルが多数あることに感謝します。本当にありがとうございました!)【震災からモダン都市・新宿へ】</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>大変見応えのある展示で、面白かったです。作家自身について、生い立ちから終焉まで網羅的に紹介されており、もっと早く出会いたかったと思いました。「晩菊」しか読んでいませんでした。これから色々読みたいと思います。書簡が多数展示されていて、どれも興味深かったです。新宿繋がり、佐伯米子のハガキが見られて良かったです。台所に立つ美美子やお手製の服など、意外な一面でした。貴館の展示は、いつも見応えがあって、じっくり拝見しています。参考文献の紹介も有り難いです。今後も充実の展示をお願いします。【特別展「生誕百二十年記念 林芙美子展 一旅人で 詩人で 傑作書きで」】</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>生誕100年、110年に続き、120年記念展を観ることができ、感謝申し上げます。先日、林芙美子記念館にも足を運びました。又、三鷹市の太宰治記念館にも行ってきました。作家同士の関係が熱いものであることに感激しました。生誕130年の年にも来館できるよう、祈っています。【特別展「生誕百二十年記念 林芙美子展 一旅人で 詩人で 傑作書きで」】</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>大変勉強になりました。有難うございます。暦、歳時記、民俗芸能、行事、お祭り、身近にある様々な催しやその痕跡・由来を知ることができて、嬉しくなりました。キャプションも解説も非常に好いです。図録が欲しい。【歳時記 一暮らしの中の祈り】</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>どんなものが展示されているのか？と、ちょっとピンときていないまま来館しましたが、こんなに多くの資料が展示されているとは。見応えありました。直近の様子を撮影した写真があるのも良かったです。チラシが春らしくてフォントもかわいらしい。展示中の解説文の文字色も優しくて良いですね。【歳時記 一暮らしの中の祈り】</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>ボランティアガイドの方に詳しく楽しくガイドしていただき、とても興味深く拝見しました。展示もとてもわかりやすいと感じました。</li> </ul>

## 意見・要望（抜粋）

	内 容	対 応
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 展示室内で大きな声で話している人、連続で大きな咳をしている人、気になりました。おしゃべりは控えめに、咳は手で覆うなど、エチケット？マナー？必要なことだと思います。林芙美子を楽しみに来館しましたが、連れ立って観ている女性の声が大きく、気になりました。なんとかならないものか。</li> </ul>	<p>来館者が気持ちよく観覧できるよう、展示室内部の状況にも気を配り必要に応じてお声がけするなど、スタッフの接客力向上に努める。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ できれば、常設展が私の幼少時と変わっていないので、是非平成時代まで扱った展示替えも強く希望したい。</li> </ul>	<p>常設展示全体は公開から約30年が経過しているため、世代交代や訪日外国人の増加、利用者ニーズの多様化等、新たな課題も踏まえた改装も視野に入れ、新宿区と協議し、レイアウト変更を含め、展示内容の刷新を検討していく。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 豊島区はサブカル、マンガ、モンパルナスなど発信力がすごい。芸術や美術にも力を入れている。新宿区はいつも記念館のある人や同じ画家ばかりとりあげてつまらない。真新しいものは何もなく、現代につながるサブカルにも視点を向けるともっと若者にも足を運んでもらえるのではないか。モンパルナスなど落合の近隣でもあるのだから、交流もあった掘り起こされていない人物もたくさんいる。</li> </ul>	<p>常設展・特別展ともに、新鮮で魅力的な展示になるよう、企画力の強化に努める。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 物価のボードがあったが、いつの値段か分からなかった。ビール大瓶33銭等。</li> </ul>	<p>来館者にとってわかりやすく見やすい展示になるよう、展示方法を検討していく。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ もう少し角度を立てて良く見えるように展示してほしい。ハガキ等の内容を書いたものを隣に置いてほしい。昔の字や、字が小さいので、内容がしりたくても不明です。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 撮影可能箇所がもう少し増えると良い。出展者個人が不可とするもの以外は基本OKの資料館が国内で増えつつある。</li> </ul>	<p>顔出しパネルの設置など、撮影可能な箇所では楽しんで撮影できるよう工夫している。今後可能な限り撮影が可能なエリアを増やすよう調整する。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 図録のネット購入をしやすくして頂けると有り難いです。（ストア等のサービス導入など）</li> </ul>	<p>インターネット決済の導入等によるサービス向上を、今後検討していく。</p>

### 3 省エネルギー・省資源

- ① バックヤード照明の間引き、不要照明の消灯、適正な空調温度の管理等の省エネルギー活動を行った。
- ② 館内の LED 化を継続して進め、令和 5 年度は収蔵庫等 9 箇所の更新を行い、消費電力の削減を行った。
- ③ 積極的な裏紙使用や、データによる資料の共有、出力前のデータチェックの徹底等により用紙の使用を抑制し、省資源活動を行った。
- ④ 省エネルギー・省資源活動の目標については、別途新宿区に提出する「環境マネジメント活動報告書」にて設定の上、適正に進捗管理を行った。
- ⑤ 新宿区の環境施策を踏まえ、施設内の電気について、ゼロカーボン電力（調整後排出係数 0.000kg-CO<sub>2</sub>/kWh）を使用した。

項目	今年度	前年度	前年比	説明
電気 (kWh)	510,855	493,706	103%	令和 4 年度は加湿器(PAC-1 系統蒸気シリンダ)の故障により収蔵庫で一部電気を停止したが、令和 5 年度は通常どおりの稼働となったことによる増。
ガス (m <sup>3</sup> )	25,024	28,409	88%	暖冬により冷温水発生機の稼働時間が減少したことによる減。
水道 (m <sup>3</sup> )	1,735	1,646	105%	講堂利用時間の増加や猛暑により、夏季に空調利用が増え、水を使う冷却塔の稼働が増加したことによる増。
廃棄物 (kg)	4,220	5,105	83%	片面使用済用紙の活用、リサイクル意識・ごみの分別等の徹底による減。
その他				近場の移動は自転車を利用等。

## 4 管理運営経費に関すること

### (1) 適正な会計

公益法人会計に準拠した会計システムによる事務処理や税理士、監査法人による外部チェックを実施した。

### (2) 目標の達成

	目標	実績	達成率
① 本業務収入 [観覧料等]	4,164,000 円	5,178,515 円	124.4%
② 本業務（提案事業）収入 [メンバーズ倶楽部会費等]	936,000 円	986,500 円	105.4%
③ 指定管理自主事業収入 [自動販売機手数料]	190,000 円	238,057 円	125.3%

詳細は、収入実績（P23）のとおり。

### (3) 経費節減、収入・利益率確保の努力

#### ① 財団スケールメリットの最大活用

指定管理者として当財団が施設管理を行っている各施設で共通する保守等の業務を一元化して委託し、スケールメリットによる費用節減を図った。

また、広報紙や施設ガイド、ホームページ等の広報活動については、財団全体で包括的・効率的に行った。

#### ② 財団が管理する歴史文化施設との協働運営

新宿歴史博物館、林芙美子記念館、佐伯祐三アトリエ記念館、中村彝アトリエ記念館の4施設を一括して管理運営することにより、人件費や清掃業務経費を抑制した。また、漱石山房記念館との連携により事務の効率化を図った。

#### ③ 省エネルギーの推進

「3省エネルギー・省資源」のとおり、省エネルギー活動を継続して実施し、経費の節減を図った。

#### ④ プロセス最適化による経費削減

長年のノウハウを活かした計画的な管理・修繕業務による施設寿命の長寿化、複数見積の取得や入札などにより、経費削減に取り組んだ。

#### ⑤ PR 活動の推進

広報紙（月2回、2023年4/5号～2024年3/20号（24回）各85,000部発行）、駅広告（都営新宿線曙橋駅、東京メトロ丸ノ内線四谷三丁目駅、JR四ツ谷駅）、施設ガイド（年1回

発行)、メンバーズ倶楽部会報(年6回)等により施設をPRした。

また、財団ウェブサイト上での多言語対応として、多言語翻訳サービス(翻訳言語数121言語。PDFデータは英・中(簡・繁)・韓の4言語)を導入し、周知の強化に努めた。

この他、ウェブサイト上で企画展示紹介動画等の配信やSNSの手法による情報発信等、デジタル媒体を通じた広報も積極的に行った。

#### ⑥ 地域人材との協働

博物館ボランティア制度により、地域の有用な人材を最大限に活かした協働・参画型の博物館運営を推進した。

#### ⑦ 展示会セット券の販売による収入の確保

特別展や協働企画展等の企画展示開催時は、常設展とのセット券も販売し、利用者がより利用しやすい料金を設定した。

#### ⑧ 本業務(提案事業)での収入確保

中庭活用事業(お茶会)、メンバーズ倶楽部の会費等により収入を確保した。

#### ⑨ 指定管理自主事業での収入の確保

自動販売機の運営による利益を施設管理費に充当し、指定管理料を抑制した。

#### ⑩ 施設を活用した事業展開

施設を活用した事業を実施することで施設の魅力を内外に広く発信し、施設の利用拡大を図った(詳細は事業実績(P28)のとおり)。

#### ⑪ その他(利益の一部還元)

残額が発生した光熱水費を主な財源に、企画展示室へ調光機能付LED照明装置設置(令和6年度実施予定)のための準備資金を積み立てた。

また、財団自主事業であるミュージアムショップについて、収支実績確定後に収支差額(新宿歴史博物館、落合3記念館、漱石山房記念館分の合計)の一部を区に還元した。

令和5年度は343,493円を区へ還元した。(新宿歴史博物館、落合3記念館分)

## 収支実績

(単位：千円)

収 入			支 出		
項 目	計 画	実 績	項 目	計 画	実 績
指定管理本業務	4,164	5,179	指定管理本業務 ※パート人件費含む	92,497	83,902
指定管理本業務 (提案事業)	936	986	指定管理本業務 (提案事業)	1,569	1,015
指定管理協定による 収入	98,907	98,907			
指定管理自主事業	190	238	指定管理自主事業	83	35
			人件費 ※パート人件費含まない	10,048	10,136
収入合計	104,197	105,310	支出合計	104,197	95,088

## (1) 収入実績

単位：円

項目	計画	実績	計画との差異	(参考)前年度実績	備考
①指定管理本業務収入	4,164,000	5,178,515	1,014,515	4,655,259	
観覧料収入	3,318,000	3,969,900	651,900	3,665,000	常設展観覧料、特別展観覧料
講堂利用収入	573,000	852,000	279,000	718,000	講堂施設利用料、附帯設備利用料
ぐるっとパス販売等収入	250,000	328,555	78,555	244,199	
閲覧室コピー機管理手数料	23,000	28,060	5,060	28,060	
②指定管理本業務(提案事業)収入	936,000	986,500	50,500	974,500	
メンバーズ倶楽部会費収入	783,000	816,500	33,500	896,500	
中庭活用事業参加料収入	45,000	62,000	17,000	51,000	お茶会参加料収入
③指定管理協定による収入	98,907,000	98,907,000	0	89,458,000	
区指定管理収入	98,907,000	98,907,000	0	89,458,000	
④本業務計 (①+②+③)	104,007,000	105,072,015	1,065,015	95,087,759	
⑤指定管理自主事業収入	190,000	238,057	48,057	179,965	
自動販売機販売手数料	190,000	238,057	48,057	179,965	コミッション収入 203,099円、 電気使用料 34,958円
収入合計 (④+⑤)	104,197,000	105,310,072	1,113,072	95,267,724	

## (2) 支出実績

総括表

単位：円

項目	計画	実績	計画との差異	(参考)前年度実績	備考
①指定管理本業務	92,497,000	83,902,079	△ 8,594,921	80,633,258	パート人件費含む
②指定管理本業務(提案事業)	1,569,000	1,014,719	△ 554,281	964,054	
③本業務計 (①+②)	94,066,000	84,916,798	△ 9,149,202	81,597,312	
④指定管理自主事業	83,000	34,958	△ 48,042	34,291	
支出合計 (③+④)	94,149,000	84,951,756	△ 9,197,244	81,631,603	
人件費	10,048,000	10,135,764	87,764	9,200,703	パート人件費含まない
繰入金支出	0	0	0	0	
支出総合計	104,197,000	95,087,520	△ 9,109,480	90,832,306	

①指定管理本業務

(i) パート人件費

単位：円

項目	計画	実績	計画との差異	(参考)前年度実績	備考
パート人件費支出	12,535,000	12,110,611	△ 424,389	10,633,530	
パート人件費	12,535,000	12,110,611	△ 424,389	10,633,530	
合計	12,535,000	12,110,611	△ 424,389	10,633,530	

(ii) 一般管理費項目詳細

単位：円

項目	計画	実績	計画との差異	(参考)前年度実績	備考
一般事務用品等の購入	2,172,000	1,211,922	△ 960,078	1,662,893	
消耗品費	2,172,000	1,211,922	△ 960,078	1,662,893	
租税公課費の支出	2,341,000	2,263,741	△ 77,259	2,119,122	
租税公課	2,341,000	2,263,741	△ 77,259	2,119,122	消費税等
その他一般管理費支出	706,000	633,064	△ 72,936	609,027	
通信運搬費	653,000	580,064	△ 72,936	569,200	
旅費交通費	53,000	53,000	0	39,827	
合計	5,219,000	4,108,727	△ 1,110,273	4,391,042	

(iii) 施設・設備維持管理費項目詳細

項目	計画	実績	計画との差異	(参考)前年度実績	備考
委託費支出	48,177,000	47,430,975	△ 746,025	41,156,372	
委託費	48,177,000	47,430,975	△ 746,025	41,156,372	施設管理・清掃・警備業務、機械警備等
修繕費支出	4,439,000	3,827,315	△ 611,685	3,558,665	
修繕費	4,439,000	3,827,315	△ 611,685	3,558,665	施設・設備修繕
その他施設・設備維持管理費支出	21,188,000	15,585,936	△ 5,602,064	20,109,273	
光熱水費	20,056,000	15,076,730	△ 4,979,270	19,047,367	電気・水道・ガス代
使用量及び賃借料	866,000	323,775	△ 542,225	245,520	
リース料	266,000	185,431	△ 80,569	816,386	レジ・釣銭機分
合計	73,804,000	66,844,226	△ 6,959,774	64,824,310	

(iv) 運営費項目詳細

項目	計画	実績	計画との差異	(参考)前年度実績	備考
印刷製本費支出	427,000	339,900	△ 87,100	263,898	
印刷製本費	427,000	339,900	△ 87,100	263,898	チラシ、リーフレット等
その他運営費支出	512,000	498,615	△ 13,385	520,478	
諸謝金	172,000	172,000	0	172,000	
保険料	47,000	32,583	△ 14,417	30,667	
支払負担金	200,000	200,000	0	200,000	ぐるっとバス出資金
支払手数料	93,000	85,423	△ 7,577	84,669	
支払利息	0	8,609	8,609	33,142	レジ・釣銭機リース
合計	939,000	838,515	△ 100,485	784,376	

## ②指定管理本業務（提案事業）

単位：円

項目	計画	実績	計画との差異	(参考)前年度実績	備考
一般事務用品等の購入	642,000	394,054	△ 247,946	481,281	
消耗品費	642,000	394,054	△ 247,946	481,281	
租税公課費の支出	0	0	0	0	
租税公課	0	0	0	0	
その他一般管理費支出	643,000	433,802	△ 209,198	451,684	
通信運搬費	640,000	432,262	△ 207,738	451,684	
旅費交通費	3,000	1,540	△ 1,460	0	
委託費	187,000	186,200	△ 800	0	
修繕費支出	0	0	0	0	
修繕費	0	0	0	0	
その他施設・設備維持管理費支出	64,000	0	△ 64,000	28,800	
使用料及び賃借料	64,000	0	△ 64,000	28,800	
印刷製本費支出	0	0	0	0	
印刷製本費	0	0	0	0	
その他運営費支出	33,000	663	△ 32,337	2,289	
諸謝金	29,000	0	△ 29,000	0	
保険料	4,000	663	△ 3,337	2,289	
合計	1,569,000	1,014,719	△ 554,281	964,054	

③指定管理本業務計①+②	94,066,000	84,916,798	△ 9,149,202	81,597,312	
--------------	------------	------------	-------------	------------	--

## ④指定管理自主事業費項目詳細

項目	計画	実績	計画との差異	(参考)前年度実績	備考
自動販売機等運営費	83,000	34,958	△ 48,042	34,291	
光熱水費	83,000	34,958	△ 48,042	34,291	
合計	83,000	34,958	△ 48,042	34,291	

自主事業（利益配分を実績確定後に区に配分する分）※ミュージアムショップは財団自主事業として運営

項目	収入	支出	収支差額	区還元額
ミュージアムショップ実績	2,954,259	1,236,791	1,717,468	343,493

※新宿歴史博物館分、漱石山房記念館分の収支を合算しプラスになったため、新宿歴史博物館分の収支差額の2割（343,493円）を区に還元した。

## 5 事業に関すること

### (1) 事業実施

#### ① 本業務及び本業務（提案事業）

事業名	評価指標	計画	実績
メンバーズ倶楽部 (博物館友の会)	登録者数	720 人	682 人
常設展特設コーナー展示替え	実施回数	4 回	4 回
ガーデニング倶楽部 (ガーデニングボランティア)	活動実績	植替え、水やり	植替え等 8 回
中庭活用事業（お茶会）	実施回数、参加者数	2 回、50 人/回	2 回、計 124 人
施設開放イベント (レガスマツリ「はくぶつかんまつり」)	来場者数	1,000 人	延べ 1,042 人
ギャラリースペース等の活用	ギャラリー利用者数	14,000 人	15,917 人

#### ② 指定管理自主事業

事業名	評価指標	計画	実績
自動販売機の運営	—	190,000 円	238,057 円

### (2) 効果的・効率的な視点

新宿歴史博物館の設置目的について、新宿区立新宿歴史博物館条例第 1 条では、「区民の教養の向上及び文化の発展に寄与するため、新宿区立新宿歴史博物館を設置する。」と規定している。

この設置目的を達成するため、指定管理事業である新宿歴史博物館の管理運営、財団の自主財源で実施する自主事業、新宿区より請け負っている補助事業等を幅広く展開、連携し、一体的に実施することで、利用者の増加と効果的な運営を実現した（詳細は、事業実績（P28）のとおり）。

さらに、職員作成による動画(展示会 3 本・民具 1 本) をウェブサイトに掲載した。所蔵資料を活用した「昔の道具を見てみよう」(5 本※うち新規作成 1 本)は、区内学校へ動画活用の案内を行うなど情報発信にも努め、学校教育に役立てられている。

事業実績（指定管理事業以外）

定款事業区分	事業名	実績
地域の歴史の記録保存及び普及啓発	郷土資料の調査収集・活用	(1) 調査収集・管理 ①寄贈受入 21件 358点 ②資料点検 4回、全館燻蒸（隔年実施） ③資料修復18点（資料修復1点、図書修理8点・合本 9点） ④レプリカ作成 4点 (2) 資料の活用 ①写真データベース入力737点 ②写真データベースHP掲載写真追加 60点 ③資料データベース入力3,512点 ④所蔵図書資料 システム入力 1,419点 ⑤写真資料貸出 205件1,138点 ⑥資料閲覧11件 112点 ⑦資料貸出 7件 174点
	展示会の開催	(1) 特別展 特別展「生誕120年記念 林芙美子展—旅人で 詩人で 傑作書きで—」 観覧者数3,965人 ギャラリートーク71人 (2) 協働企画展・所蔵資料展 ①所蔵資料展「戦前の新宿」 観覧者数 715人（令和5年度分） ギャラリートーク12人 ②所蔵資料展「新宿の画家たち」 観覧者数 2,775人 ギャラリートーク38人 ③所蔵資料展「震災からモダン都市・新宿へ」 観覧者数3,701人 ギャラリートーク50人 ④所蔵資料展「歳時記 暮らしの中の祈り」 観覧者数543人（令和5年度分） ギャラリートーク9人
	文化財等の保存・公開	(1) 国史跡「林氏墓地」の公開 ①現地公開（3回） 参加者 165人 ②林氏墓地樹木の剪定（1回）、除草（2回） ③林氏墓地史跡内墓石現状調査（1回） (2) 高田馬場流鏑馬の公開（中止） (3) ミニ博物館の支援 パンフレットの印刷・増刷 染の里おちあい（二葉苑）・木組み博物館 各10,000部 (4) 伝統芸能・民俗芸能の継承 ①民俗芸能の集い（里神楽ワークショップ） 50人（隔年実施） ②講談（3回） 参加者数266人 ③投扇興 53人（隔年実施）
	講座・講演会の開催	(1) 古文書講座 初級（全5回）延べ参加者数217人 中級（全5回）延べ参加者数214人 (2) 歴史講座（全3回）延べ参加者数82人 (3) 史跡関連講座（全3回）延べ参加者数 182人 (4) 学芸員と学ぶ歴史講座（全2回）参加者数137人 (5) 所蔵資料展関連講座（全3回）延べ参加者数117人 (6) 近代史講演会 参加者数48人 (7) 中高生歴史講座 参加者数51人 (8) 絵手紙講座（全2回）参加者数 31人 (9) 泉鏡花（生誕150年記念講演会）参加者数56人 (10) 協働講座・講演会（全4回）参加者数218人 (11) 夏休みこどもイベント（全7回）延べ参加者数 246人
	歴史文化探訪	歴史文化探訪（全6回） 四谷寺町と文化財を訪ねて 40人 旧淀橋上水周辺を巡る 39人 生誕120年記念林芙美子展観覧『放浪記』と歩くDeepな新宿 28人 落合散策 台地と妙正寺川 47人 夏目漱石と森鷗外 32人 漱石忌 13人

地域の歴史の記録保存及び普及啓発	学校等への教育活動支援	<p>(1) 学校への学習支援案内</p> <p>①「新宿区立新宿歴史博物館 活用の手引き」(小・中学校共通)を区内小中学校に配布</p> <p>②「新宿区立新宿歴史博物館 活用の手引き(行ってみよう!新宿歴史博物館)」を区立幼稚園・保育園に配布</p> <p>(2) 社会科見学 延べ38校</p> <p>(3) 学校での授業支援 9校</p> <p>(4) 職場体験 3校</p> <p>(5) 大学との連携・支援 12校</p> <p>①授業での解説・指導 4校</p> <p>②博物館実習 8校、10日</p> <p>③インターンシップ受入 0件</p> <p>(6) 小学生向けパンフレットの配布(小学3年生)</p> <p>(7) 夏休みこども向けチラシの制作・配布</p> <p>(8) 体験用資料の追加(教育用DVD等)</p> <p>(9) むかしの道具の紹介動画作成・配信 1件</p>
	博物館ボランティアの活動支援	<p>(1) ボランティア登録者数 142人(延べ288人)</p> <p>(2) ボランティア活動実績 延べ活動回数1,870回</p> <p>①史跡ガイド部会 延べ136回</p> <p>②展示ガイド部会 延べ456回</p> <p>③林芙美子記念館ガイド部会 延べ404回</p> <p>④落合アトリエ記念館ガイド部会 延べ329回(佐伯171、中村158)回</p> <p>⑤事業サポート部会 延べ活動回数200回</p> <p>⑥漱石山房記念館ガイド部会 延べ活動回数345回</p> <p>(3) その他運営実績</p> <p>①ボランティア全体会 全2回 出席者数150人</p> <p>②レベルアップ講座 参加者数85人</p> <p>③ボランティア交流会 65人</p> <p>④研修バスツアー 40人</p> <p>⑤ボランティア養成講座 実施なし</p> <p>(4) 自主活動グループへの支援</p> <p>林芙美子記念館ガイドを中心とした勉強会及び朗読グループ、展示ガイドを中心とした勉強会等へのサポートや活動・発表機会を提供</p>
	ミュージアムショップ	<p>(1) ミュージアムショップ合計 売上数7,092点、収入金額3,309,610円</p> <p>①新宿ミニ博物館及び新宿関連書籍等委託販売 520点 422,390円 うち収入 103,039円(販売手数料)</p> <p>②オリジナルグッズ 4,130点 759,085円</p> <p>③刊行物 2,413点 2,092,135円</p> <p>④新宿区委託販売 29点 36,000円(手数料収入なし)</p> <p>(2) 新規・追加作成 特別展図録1,000部</p>
	地域文化ネットワークの推進	<p>(1) 地域文化ネットワーク</p> <p>①文化ネットワーク交流会 実施無し ※隔年実施</p> <p>②四谷文化ネットワーク交流会 連絡会1回 参加機関14ヶ所</p> <p>③落合文化ネットワーク 情報交換、広報連携</p> <p>④新宿文化ネットワーク交流会 連絡会1回 参加機関14ヶ所</p> <p>(2) 新宿区内地域協働事業</p> <p>①投扇興 53人 ※隔年実施 連携先:神楽坂投扇興の会</p> <p>②ワークショップ(全2回) 53人 連携先:東京堂</p> <p>③日本建築家協会との協働パネル展示、関連講演会(全2回) 138人</p> <p>④林芙美子記念館との相互紹介 連携先:中野区立哲学堂公園</p>

<p>地域の歴史の記録保存及び普及啓発</p>	<p>地域文化ネットワークの推進</p>	<p>(3) 地域への協力・支援</p> <p>①染の小道 協力先：染の小道実行委員会</p> <p>②四谷地区協議会イベント（四谷大好きまつり） 協力先：四谷地区協議会</p> <p>③駅からハイキング 協力先：JR東日本</p> <p>④広報紙「とつか」地域の歴史欄寄稿 協力先：戸塚地区協議会</p> <p>⑤平和展 協力先：新宿区総務課</p> <p>⑥神楽坂ストリート川柳 協力先：神楽坂おかみさん会</p> <p>⑦新宿東口映画祭 協力先：武蔵野興業</p> <p>⑧研修会講師派遣 協力先：戸山公園サービスセンター 四谷ロータリークラブ 北新宿第二地域交流館 戸山図書館</p> <p>⑨中村屋新人研修（展示室解説） 協力先：株式会社中村屋</p> <p>⑩四谷消ぼう祭 協力先：四谷消防署</p> <p>⑪早大理工展協賛 協力先：早大理工展連絡会</p> <p>⑫早大クイズフェスティバル協賛 協力先：早大クイズ研究会</p> <p>⑬四谷ディスカバリーキャンプ 協力先：ホテルウイングインターナショナル プレミアム東京四谷</p> <p>(4) ふれあいトーク 7件</p>
-------------------------	----------------------	--

## ◎参考資料

- 1 新宿歴史博物館等文化・歴史施設の指定管理者の管理業務に係る事業評価に関する要綱・・・・・・・・・・・・参考資料1
- 2 新宿歴史博物館等文化・歴史施設の指定管理者の管理業務に係る事業評価委員会の開催実績・・・・・・・・・・・・参考資料2

## 参考資料 1

### 新宿歴史博物館等文化・歴史施設の指定管理者の 管理業務に係る事業評価に関する要綱

(目的)

第1条 この要綱は、新宿歴史博物館等文化・歴史施設の指定管理者が実施した管理業務に係る事業を評価するにあたり、必要な事項を定めることを目的とする。

(事業評価委員会の設置)

第2条 区長は、指定管理者が行う新宿歴史博物館等文化・歴史施設の管理業務に関する評価(以下「評価」という。)を行なうため、新宿歴史博物館等文化・歴史施設指定管理者事業評価委員会(以下「委員会」という。)を設置する。

2 委員会は次の施設の評価を行うものとする。

- (1) 新宿歴史博物館
- (2) 林芙美子記念館
- (3) 佐伯祐三アトリエ記念館
- (4) 中村彝アトリエ記念館
- (5) 漱石山房記念館

3 委員会は年度ごとに設置し、前項の評価の終了をもって廃止する。

(組織)

第3条 委員会は、次に掲げる職にある者につき、区長が委嘱し、又は任命する委員6名をもって組織する。

- (1) 外部有識者 4名
- (2) 内部委員 2名

2 委員会に委員長を置き、委員長は内部委員の中から任命する。

3 委員長は、委員会を代表し会務を総理する。

4 委員長に事故あるときは、委員のうちから委員長があらかじめ指名した者がその職務を代理する。

(委員の任期)

第4条 委員の任期は、委嘱した日又は任命した日から所定の評価業務が終了した日までとする。

(委員会の開催)

第5条 委員会は、委員長が招集し、委員長がその議長となる。

2 委員長は、過半数以上の委員の出席がなければ、委員会を開くことができない。

3 委員長は、必要に応じ、委員以外の者を委員会に出席させることができる。

(評価の基準)

第6条 評価は、次に掲げる項目について、別に定める評価の基準により行なうものとする。

- (1) 施設の管理業務に関すること
- (2) 施設の運営方法に関すること

- (3) 管理経費の収支状況に関する事
- (4) その他委員会が必要と認める事項

(評価方法)

第7条 委員会は、前条の評価を次のとおり行う。

- (1) 指定管理者が提出した事業実施報告書による評価
- (2) 指定管理者に対するヒアリングによる評価

(評価結果の決定)

第8条 区長は、文化観光産業部文化観光課が取りまとめる委員会の評価を踏まえ、評価結果を決定する。

(評価対象)

第9条 委員会が行う評価の対象は、当該年度の前年度に実施した管理業務とする。

(委員会の庶務)

第10条 委員会の庶務は、文化観光産業部文化観光課が処理する。

(補則)

第11条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に必要な事項は、別に定める。

#### 附 則

この要綱は、平成20年6月26日から施行する。

この要綱は、平成23年6月30日から施行する。

この要綱は、平成24年4月1日から施行する。

この要綱は、平成26年4月1日から施行する。

この要綱は、平成28年4月1日から施行する。

この要綱は、令和3年4月1日から施行する。

この要綱は、令和3年6月1日から施行する。

この要綱は、令和4年6月1日から施行する。

## 参考資料 2

### 新宿歴史博物館等文化・歴史施設の指定管理者の 管理業務に係る事業評価委員会の開催実績

1 日 時 令和6年7月24日(水) 午後2時から5時まで

2 場 所 新宿歴史博物館2階 講堂

#### 3 出席者

##### (1) 評価委員

宮瀧 交二 (大東文化大学文学部教授 (博物館学))  
加藤 弘美 (税理士)  
岩田 理加子 (朗読の会「ふみのしおり」主宰)  
夏山 勇 (榎町地区町会連合会早稲田町町会長)  
市田 亮 (新宿区文化観光産業部産業振興課長)  
齊藤 正之 (新宿区教育委員会事務局教育調整課長)

##### (2) 指定管理者 公益財団法人新宿未来創造財団

加賀美 秋彦 (事務局長)  
岡田 健一 (企画経営部長)  
岡崎 保 (文化・芸術振興部長)  
守谷 賢一 (新宿歴史博物館長兼漱石山房記念館長)  
内藤 典子 (地域歴史課係長)  
福田 義和 (漱石山房記念館課係長)  
神崎 章 (スポーツ・マラソン部長) (区派遣)

##### (3) 事務局 文化観光課

村上 喜孝 (文化観光課長)  
北村 こころ (文化資源係長)  
西村 早苗 (文化資源主査)  
関口 アンナ (文化資源係主事)

#### 4 会議内容

(1) 開会あいさつ・委員紹介

(2) 評価方法の説明

(3) 新宿歴史博物館、林芙美子記念館、佐伯祐三アトリエ記念館、中村彝アトリエ記念館、漱石山房記念館の指定管理者の評価について

ア 指定管理者事業説明

イ 事業説明に関する質疑応答

ウ 各委員による評価

エ 評価に基づく意見交換